

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-342517

(43)Date of publication of application : 29.11.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60
G06F 17/30

(21)Application number : 2001-143133 (71)Applicant : HITACHI LTD
(22)Date of filing : 14.05.2001 (72)Inventor : SAKAMOTO TAKESHI

(54) INTELLECTUAL PROPERTY RIGHT MANAGEMENT SYSTEM AND CONTRACT CONCLUDING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an intellectual property right management system which makes it easy to grasp implementation right setting states and right transfer and right sharing states.

SOLUTION: In a patent management database, contract contents between protein or a protein composites as patent objects and contract object bodies are related. For example, the exclusive implementation rights for protein X1 are set to a company A and non-exclusive implementation rights for protein X2 are set to companies B and D, and the exclusive implementation rights for protein X3 are set to a company C.

タンパク質 タンパク質複合体	A 社	B 社	C 社	D 社
X1 実施権	独占			
X2 実施権		非独占		非独占
X3 実施権			独占	

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-342517
(P2002-342517A)

(43) 公開日 平成14年11月29日 (2002. 11. 29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	1 4 2	G 0 6 F 17/60	1 4 2 5 B 0 7 5
	3 4 0		3 4 0
17/30	1 7 0	17/30	1 7 0 F
			1 7 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-143133 (P2001-143133)

(22) 出願日 平成13年5月14日 (2001. 5. 14)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 坂本 健

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

株式会社日立製作所ライフサイエンス推進
事業部内

(74) 代理人 100091096

弁理士 平木 祐輔

Fターム(参考) 5B075 ND20 ND22 ND36 PQ02 UU18
UU40

(54) 【発明の名称】 知的財産権管理システム及び契約締結方法

(57) 【要約】

【課題】 実施権設定状況や権利譲渡・権利共有状況を容易に把握することができる知的財産権管理システムを提供すること。

【解決手段】 特許管理データベースは、特許対象であるタンパク質又はタンパク質複合体と契約対象者との間の契約内容が関連づけられている。例えば、タンパク質 X 1 については、A 社に独占的な実施権が設定されており、タンパク質 X 2 については、B 社と D 社に非独占的な実施権が設定されており、タンパク質 X 3 については、C 社に独占的な実施権が設定されていることがわかる。

タンパク質 タンパク質複合体	A 社	B 社	C 社	D 社
X1 関連特許	独占			
X2 関連特許		非独占		非独占
X3 関連特許			独占	
*****	*****	*****	*****	*****

【特許請求の範囲】

【請求項1】 知的財産権の対象に関するデータと前記知的財産権の対象についての契約対象者に関するデータとの間における実施許諾契約内容に関するデータを格納するデータベースと、前記データベースに対してデータ入力を行う入力手段と前記データベースの内容を表示する表示手段とを備えることを特徴とする知的財産権管理システム。

【請求項2】 前記知的財産権の対象は、タンパク質又はタンパク質複合体であり、その対象に関するデータには、前記タンパク質若しくはタンパク質複合体を認識する抗体及び／又はその抗体を利用する診断方法に関するデータがリンクされていることを特徴とする請求項1記載の知的財産権管理システム。

【請求項3】 前記知的財産権の対象に関するデータには、その対象についての登録状況に関するデータがリンクされていることを特徴とする請求項1又は2記載の知的財産権管理システム。

【請求項4】 前記実施許諾契約内容に関するデータは、独占契約か非独占契約かを表すデータであり、独占契約を表すデータには権利譲渡若しくは専用実施権設定に関するデータがリンクされ、又は、非独占契約に関するデータには権利共有若しくは通常実施権設定に関するデータがリンクされていることを特徴とする請求項1乃至3いずれかに記載の知的財産権管理システム。

【請求項5】 知的財産権の対象に関するデータと前記知的財産権の対象についての契約対象者に関するデータとの間における実施許諾契約内容に関するデータを格納するデータベースと、前記データベースに対してデータ入力を行う入力手段と前記データベースの内容を表示する表示手段と、を備える知的財産権管理システムを操作して契約内容を決定することを特徴とする契約締結方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、特許権等の知的財産権を管理する知的財産権管理システム及び契約締結方法に関する。

【0002】

【従来技術】 特許権等の知的財産権は、実施権という形で他人に実施させることが可能である。例えば、特許権は、独占的に実施を行うことができる専用実施権や独占的通常実施権、単に実施を許諾する通常実施権等により他人に実施させることができる。また、権利譲渡や権利共有により、他人が権利を取得する場合もある。

【0003】 従来は、誰にどの種類の実施権を設定しているか、誰に権利が譲渡されたか、誰が共有者であるかについて、各特許権毎にまとめている。複数件の特許権について、まとめて他人に実施権を設定したり権利譲渡したりすることもあり、また、特許権の対象カテゴリ

毎に異なる者に実施権を設定したり権利譲渡したりすることもある。特に、薬品やタンパク質関係の特許権の場合には、カテゴリも多岐にわたるので、実施権の設定状況や権利譲渡状況も非常に煩雑となる。

【0004】 このような場合において、各特許権毎に実施権設定状況や権利譲渡状況をまとめているだけでは、例えばいくつかのタンパク質を製造しようとした場合に、その製造のための実施権の設定状況が各会社間でどのようになっているかを調べるためには、そのタンパク質に係る特許権がどれであって、その特許の実施権設定状況がどのようになっているのかを、各タンパク質毎に逐一すべて調べなければならないため、非常に煩雑となる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、実施権設定状況や権利譲渡・権利共有状況を容易に把握することができる知的財産権管理システム及び契約締結方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明の知的財産権管理システムは、知的財産権の対象に関するデータと前記知的財産権の対象についての契約対象者に関するデータとの間における実施許諾契約内容に関するデータを格納するデータベースと、前記データベースに対してデータ入力を行う入力手段と前記データベースの内容を表示する表示手段とを備える。

【0007】 また、前記知的財産権の対象は、タンパク質又はタンパク質複合体であり、その対象に関するデータには、前記タンパク質若しくはタンパク質複合体を認識する抗体及び／又はその抗体を利用する診断方法に関するデータがリンクされていることで、膨大な数のタンパク質に関する特許権についてその抗体及び診断方法を含めて実施許諾契約内容を把握することができる。また、前記知的財産権の対象に関するデータには、その対象についての登録状況に関するデータがリンクされていることで、その対象についての登録状況を確認することができる。

【0008】 また、前記実施許諾契約内容に関するデータは、独占契約か非独占契約かを表すデータであり、独占契約を表すデータには権利譲渡若しくは専用実施権設定に関するデータがリンクされ、又は、非独占契約に関するデータには権利共有若しくは通常実施権設定に関するデータがリンクされていることで、契約の具体的な内容を確認することができる。

【0009】 また、本発明の契約締結方法は、知的財産権の対象に関するデータと前記知的財産権の対象についての契約対象者に関するデータとの間における実施許諾契約内容に関するデータを格納するデータベースと、前記データベースに対してデータ入力を行う入力手段と前

記データベースの内容を表示する表示手段と、を備える知的財産権管理システムを操作して契約内容を決定する。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、添付図面を参照して詳細に説明する。本発明の知的財産権管理システムは、知的財産権の対象に関するデータと前記知的財産権の対象についての契約対象者に関するデータとの間における実施許諾契約内容に関するデータを格納するデータベースを有している。ここで、知的財産権とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等の権利をいい、知的財産権の対象とは、タンパク質又はタンパク質複合体、化合物、請求項などの前記権利の保護対象をいう。また、契約対象者とは、実施権を設定したり、権利譲渡や権利共有の対象となる法人又は個人をいう。また、実施許諾契約内容とは、実施権の種類（独占、非独占）、権利譲渡、権利共有等をいう。ここで説明する実施の形態においては、知的財産権が特許権であり、知的財産権の対象がタンパク質又はタンパク質複合体であり、契約対象者が法人である。

【0011】図1は、本発明の実施の形態の知的財産権管理システムの概略構成を示すブロック図である。制御部1は、システム全体を制御し、特許管理データベース（DB）2に格納されているデータに基づいて各種処理をしてディスプレイ4に表示させる。また、制御部1は、入力部3で入力されたデータを特許管理データベース2に入力する。これにより、特許管理データベース2にデータが入力されたり更新されたりする。

【0012】図2は、本発明の実施の形態の知的財産権管理システムにおける特許管理データベースの一例を示す図である。図2に示す特許管理データベース2は、特許対象であるタンパク質又はタンパク質複合体と契約対象者との間の契約内容が関連づけられている。例えば、タンパク質X1については、A社に独占的な実施権が設定されており、タンパク質X2については、B社とD社に非独占的な実施権が設定されており、タンパク質X3については、C社に独占的な実施権が設定されている。なお、空欄の部分は、実施権設定、権利譲渡、権利共有がない部分である。ここで、独占的な実施権とは、専用実施権や独占的な通常実施権及び権利譲渡をいい、非独占的な実施権とは、通常実施権及び権利共有をいう。

【0013】図3は、図2に示す特許管理データベースにおける関連特許リストを示す図である。図2に示す特許管理データベース2におけるタンパク質X1～X3には、関連特許がリンクされている。すなわち、特許管理データベース2を表示する画面において「関連特許」表示部分をマウスクリックすることにより、図3に示す関連特許リストがディスプレイ4に表示される。

【0014】この関連特許リストは、特許番号又は出願番号、発明の名称、請求項数、登録済かどうかに対応づ

けられている。図3において、登録済であれば、特許番号が対応づけられ、未登録であれば出願番号が対応付けられる。なお、この関連特許リストで関連づける項目については図3に限定されるものではない。

【0015】図4は、図3に示す関連特許リストの請求項対応テーブルを示す図である。図3に示す関連特許リストの特許番号又は出願番号には、請求項対応テーブルがリンクされている。すなわち、関連特許リストの特許番号又は出願番号部分をクリックすることにより、図4に示す請求項対応テーブルがディスプレイ4に表示される。

【0016】この請求項対応テーブルは、特許対象のカテゴリ、請求項、実施権設定が対応付けられている。図4において、ある特許について、タンパク質が請求項1～3に規定され、タンパク質の複合体であるタンパク質複合体が請求項4～6に規定され、そのタンパク質又はタンパク質複合体を認識する抗体が請求項7、8に規定され、その抗体を利用する診断方法が請求項9、10に規定されていることが示されている。またタンパク質と診断方法については、実施権設定がなされている。なお、この請求項対応テーブルで関連づける項目については図4に限定されるものではない。

【0017】このように、特許権の対象について登録状況がリンクされていることにより、各特許権の対象について、登録状況を把握することが可能である。また、各特許権の対象においてカテゴリと権利対象である請求項とが対応づけられていることにより、各特許権の対象についてどの請求項がどのカテゴリに属するかを把握することが可能である。また、この場合にどの請求項に実施権設定がなされているかも把握することができる。

【0018】図5は、図2に示す特許管理データベースにおける実施権設定内容を説明する図である。図6は、図2に示す特許管理データベースにおける権利所有内容を説明する図である。図2に示す特許管理データベース2には、専用実施権や通常実施権などの実施権設定内容がリンクされている。すなわち、特許管理データベース2を表示する画面における「独占」又は「非独占」表示部分をクリックすることにより、その契約内容に応じて図5に示す実施権設定内容がディスプレイ4に表示される。これにより、各実施権の具体的な内容を把握することができる。

【0019】さらに、図2に示す特許管理データベース2には、権利譲渡や権利共有などの権利所有内容がリンクされている。すなわち、特許管理データベース2を表示する画面における「独占」又は「非独占」表示部分をクリックすることにより、その契約内容に応じて図6(a)に示す譲渡履歴や図6(b)に示す共有者情報がディスプレイ4に表示される。これにより、譲渡履歴（過去の状態）や共有者情報の内容を把握することができる。これらの図5及び図6に示す表示は契約内容に応じてその

複数のものが同時に表示されることもある。

【0020】このように本実施の形態によれば、特許権の対象とこの特許権に関する契約対象者との間の契約内容を関連づけたデータベースを用いるので、実施権設定状況や権利譲渡・権利共有状況を容易に把握することができる。したがって、この実施権設定状況や権利譲渡・権利共有状況に基づいて契約内容を決定することができる。

【0021】本発明は上記実施の形態に限定されず、種々変更して実施することが可能である。例えば、本実施の形態においては、知的財産権が特許権であり、知的財産権の対象がタンパク質又はタンパク質複合体であり、契約対象者が法人である場合について説明したが、知的財産権が特許権以外の権利であっても良く、知的財産権の対象がタンパク質又はタンパク質複合体以外の対象であっても良く、契約対象者が個人であっても良い。

【0022】また、本実施の形態では、国内の特許権の特許管理データベースについて説明しているが、知的財産権は外国において取得されることもあるので、各国毎に図2に示す特許管理データベースを作成し、国別で表示するようにしても良いし、すべての国のデータをマージして表示するようにしても良い。また、これらの表示を選択することができるようにしても良い。

【0023】また、リストやテーブルの対応関係やリンクの張り方については、本実施の形態に限定されず、種々変更して実施することができる。例えば、図2に示す特許管理データベースを表示する画面において「関連特*

*許」の表示をクリックすることで図3に示す関連特許リストを表示するのではなく、直接図4に示す請求項対応テーブルが表示されるようにしても良い。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように本発明の知的財産権管理システム及び契約締結方法によれば、実施権設定状況や権利譲渡・権利共有状況を容易に把握することができる。また、誤解のない契約を迅速に締結することができる。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の知的財産権管理システムの概略構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施の形態の知的財産権管理システムにおける特許管理データベースの一例を示す図である。

【図3】図2に示す特許管理データベースにおける関連特許リストを示す図である。

【図4】図3に示す関連特許リストの請求項対応テーブルを示す図である。

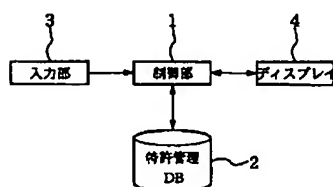
20 【図5】図2に示す特許管理データベースにおける実施権設定内容を説明する図である。

【図6】図2に示す特許管理データベースにおける権利所有内容を説明する図である。

【符号の説明】

- 1 制御部
- 2 特許管理データベース
- 3 入力部
- 4 ディスプレイ

【図1】



【図2】

タンパク質 タンパク質複合体	A社	B社	C社	D社
X1関連特許	特許			
X2関連特許		特許		特許
X3関連特許			特許	
*****	*****	*****	*****	*****

【図5】

実施権設定内容
内容：関東地方及び東北地方における通常実施権
期間：1997年10月1日～2004年3月31日

【図3】

特許番号又は 出願番号	発明の名称	請求項数	登録
〇〇〇〇	*****	〇	済
XXXX	*****	X	済
AAAA	*****	△	済
□□□□	*****	□	未

【図4】

カテゴリー	請求項	実施権設定
タンパク質	1～3	〇
タンパク質複合体	4～6	
抗体	7、8	
診断方法	9、10	〇

(5)

特開2002-342517

【図6】

(a)

開張履歴	
・〇〇年〇月〇日	○社から脱退
・××年×月×日	□社に脱退

(b)

共有者情報	
共有者	持分
.....社	50%
.....社	20%